

- 問1

人口が約628万人で、他都県への通勤・通学者数が約80万人と全人口の約12.7%を占めるほど多く、かつ製造品出荷額等の内訳において「石油・石炭製品」が約23.1%で第1位となっている統計データがあります。このデータが示す、千葉県の東京湾沿いに位置する工業地域を何といいますか。（2024年 東京都公立入試 類似）

1. 京葉工業地域

2. 瀬戸内工業地域

3. 中京工業地帯

4. 阪神工業地帯
- 問2

関東地方の群馬県沼田市などで栽培される農産物を、新鮮な状態で都市部へ供給するために行われている工夫について述べた文として、正しいものはどれですか。（2022年 長野県公立入試 類似）

1. 船舶による大量輸送を導入し、輸送時間をかける代わりに鮮度を保つ特殊な冷蔵技術を用いる工夫。

2. 貨物列車による定時輸送を徹底し、一般道路での渋滞を完全に回避して全国へ配送する工夫。

3. 一般道路のみを使用して、ガソリン代や高速道路料金などの輸送コストを徹底的に削減する工夫。

4. 高速道路網を利用して輸送時間を短縮し、早朝に収穫した品をその日のうちに店頭に並べる工夫。
- 問3

千葉県の東京湾沿いの地域には、石油・石炭製品を扱う大規模な工場が集中しています。このような工業が、内陸部ではなく特に臨海部に立地している理由として最も適切な説明を次から選びなさい。（2021年 福岡県公立入試 類似）

1. 冷却水として大量の真水を確保するため、大きな河川の河口付近が選ばれたから。

2. 工場から出る排気ガスによる大気汚染の影響を、海風で最小限に抑えるため。

3. 大規模な工場用地が確保しやすく、原料の輸入に便利だから。

4. 製品を消費地である東京都心へ、船を使って短時間で運搬するため。
- 問4

茨城県のつくば市（筑波研究学園都市）では、夜間の居住人口（夜間人口）が約22.7万人であるのに対し、仕事や通学のために周辺地域から流入する人々を含めた人口（昼間人口）は約24.4万人に達します。このように昼間人口が夜間人口を上回る要因として、最も適切な説明はどれですか。（2021年 静岡県公立入試 類似）

1. 大規模な工業団地が整備され、製造業に従事する外国人労働者の移住が進んだため

2. 都心部へのアクセスが良いため、夜間に都心から帰宅する会社員のベッドタウンとなっているため

3. 国の研究機関や大学が数多く移転・集積し、市外から通勤・通学する人が多いため

4. 歴史的な街並みを保存した観光地が多く、全国から日帰りの観光客が昼間に集中するため
- 問5

主要都市の人口特性を比較した統計において、大阪市の昼夜間人口比率が131.7であるのに対し、さいたま市の数値は93.0となっている。このさいたま市の数値が示す都市の性質として、最も適切なものはどれか。（2020年 鹿児島県公立入試 類似）

1. 昼間人口が夜間人口よりも多く、周辺地域から多くの労働者や学生を吸い寄せる地方中心都市としての性質

2. 昼間人口が夜間人口を大幅に上回っており、観光や商業の拠点として昼間の人口密度が極めて高い都市としての性質

3. 夜間人口と昼間人口がほぼ等しく、住居と職場が同じ地域内に共存している職住近接の都市としての性質

4. 昼間人口が夜間人口よりも少なく、東京都など周辺の都市へ通勤・通学する人が多いベッドタウンとしての性質
- 問6

茨城県の南東部で生産されるピーマンは、明け方に収穫されたものがその日の午後にトラックで約3時間かけて東京へと運ばれます。このように、大消費地である都市の近くで行われ、輸送距離が短い利点を活かして鮮度の高い農作物を供給する農業の形態を何と呼びますか。（2023年 東京都公立入試 類似）

1. 高原野菜の栽培

2. 近郊農業

3. 土地生産性農業

4. 遠郊農業
- 問7

栃木県・群馬県・茨城県を中心とする北関東の工業地域において、1960年代には内陸部に点在していた工場の分布が、近年では特定の交通網に沿って集中するように変化しています。この地域で新しく工場や物流拠点が建設されている場所の特徴として、最も適切なものを次のうちから選びなさい。（2017年 鹿児島県公立入試 類似）

1. 大型貨物船が停泊できる港湾の付近

2. 貨物列車の積み込みを行う鉄道駅の周辺

3. 広大な農地を確保しやすい山間部の急斜面

4. 高速道路のインターチェンジ周辺の急斜面
- 問8

関東地方に位置するある県の農業産出額の内訳をみると、米の占める割合が2割弱であるのに対し、野菜と畜産がそれぞれ約3割ずつとバランスよく高い割合を占めています。大消費地である東京への供給地としての役割が強いこの県はどこですか。（2019年 群馬県公立入試 類似）

1. 宮崎県

2. 新潟県

3. 茨城県

4. 青森県
- 問9

関東地方の1都3県における人口の動向について、埼玉県や千葉県、神奈川県では、東京都とは対照的に「夜間人口が昼間人口を上回る」という傾向があります。この背景にある、都市の中心部の地価高騰などによって居住地が郊外へ移り、周辺の県が「ベッドタウン」としての役割を持つようになった社会現象を何と呼びますか。（2024年 三重県公立入試 類似）

1. 過疎化

2. ドーナツ化現象

3. インバウンド

4. Uターン現象
- 問10

千葉港の輸入額における国別割合を見ると、アラブ首長国連邦が24.3%、カタールが11.0%、サウジアラビアが10.7%と、西アジア諸国が上位を占めています。このような輸入の傾向が見られる千葉県を中心とした京葉工業地域において、最も発達している工業の種類を次の中から選びなさい。（2017年 大分県公立入試 類似）

1. 繊維工業

2. 自動車工業

3. 鉄鋼業

4. 石油化学工業
- 問11

群馬県におけるキャベツの出荷量は、3月は約80tであるのに対し、8月には1万tを超えて激増するという統計があります。また、群馬県の栽培地点は、千葉県などの平地の地点と比較して8月の気温が低く保たれているという特徴があります。このような標高の高い地域で行われる農業について説明したものと、最も適切なものはどれですか。（2025年 福岡県公立入試 類似）

1. 大消費地に近い立地を活かして、生産コストを抑えながら鮮度の高い野菜を届ける近郊農業。

2. 化学肥料や農薬を抑え、消費者の健康や環境に配慮して農作物を育てる有機農業。

3. 冬の温暖な気候を利用して、ビニールハウスなどで成長を早めて出荷時期をずらす促成栽培。

4. 夏でも涼しい気候を利用して、平地での生産が難しい時期に野菜を栽培・出荷する高冷地農業。
- 問12

東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県 の4都県における人口統計を確認すると、東京都のみが「昼間人口が夜間人口を上回る」という特徴を持っています。これに対し、他の3県では夜間にその場所に住んでいる人口の方が多くなっています。東京都でこのような現象が起きる主な理由として、周辺の県からどのような目的で人々が流入していると考えられますか。最も適切な組み合わせを選びなさい。（2024年 三重県公立入試 類似）

1. 観光と買い物

2. 農業と漁業

3. 通勤と通学

4. 帰省と宿泊
- 問13

関東地方北部に位置するある県は、統計資料において住宅用太陽光発電機器の設置割合が全国上位8都県に含まれています。この資料が示している栃木県の県庁所在地として正しいものはどれですか。（2023年 秋田県公立入試 類似）

1. 水戸市

2. 前橋市

3. 宇都宮市

4. 高崎市

答え合わせ・解説

問1	答え 1 京葉工業地域	千葉県は東京湾沿いに広がるこの地域は、1950年代から大規模な埋め立て地が造成され、製油所や製鉄所、火力発電所が建設されました。これにより、国内最大規模の石油コンビナートが形成されたため、石油・石炭製品の割合が非常に高いのが特徴です。また、東京都に隣接していることから、昼間は都心へ通勤・通学する人が多いという人口移動の特色も持っています。
問2	答え 4 高速道路網を利用して輸送時間を短縮し、早朝に収穫した品をその日のうちに店頭に並べる工夫。	道路網が整備された現代の農業では、特に都市近郊において「速達性」が重視されます。沼田市から東京の市場への移動時間を例に見ると、高速道路の利用により一般道路の約半分の時間（約150分）で到着できます。この時間の短縮が、農産物を「新鮮なうち」に販売することを可能にしています。
問3	答え 3 大規模な工場用地が確保しやすく、原料の輸入に便利だから。	石油・石炭製品の製造には広大な敷地が必要です。千葉県の臨海部は大規模な埋め立てによってその用地を確保してきました。また、日本は石油資源のほとんどを海外に依存しているため、原料を運ぶ大型船が直接接岸できる臨海部は、原料の輸入に便利であるという決定的な利点があります。このような背景から、京葉工業地域では化学工業や石油・石炭製品の割合が高くなっています。
問4	答え 3 国の研究機関や大学が数多く移転・集積し、市外から通勤・通学する人が多いため	筑波研究学園都市は、東京の過密解消と科学技術の振興を目的に、国の研究機関や大学を計画的に移転して作られた都市です。そのため、高度な専門知識を扱う職場や教育施設が集中しており、周辺の自治体から多くの研究者、職員、学生が通勤・通学してくることで、昼間の活動人口が夜間の居住人口を上回る特徴を持っています。
問5	答え 4 昼間人口が夜間人口よりも少なく、東京都など周辺の都市へ通勤・通学する人が多いベッドタウンとしての性質	昼夜間人口比率が100%を超える大阪市などは、周辺から多くの人が集まる「吸い寄せ型」の都市ですが、さいたま市のように100%を下回る数値は、市外へ通勤・通学する人口が、市外から来る人口を上回っていることを意味します。このような都市は、大都市近郊の住宅都市、いわゆる「ベッドタウン」に見られる典型的な特徴です。
問6	答え 2 近郊農業	都市部へのアクセスが良い立地を活かし、新鮮さが求められる野菜などを生産して出荷する形態を近郊農業と言います。茨城県は東京という巨大な市場に近い、トラック輸送による高い利便性を活かした農業が発達しました。
問7	答え 4 高速道路のインターチェンジ周辺	自動車輸送の重要性が高まったことで、トラックによる原材料の搬入や製品の出荷をよりスムーズに行う必要が生じました。北関東では東北自動車道や関越自動車道などの高速道路網が整備されたため、移動時間を短縮し輸送の効率性を高めることができるインターチェンジ付近に工場や物流センターが密集するようになりました。
問8	答え 3 茨城県	茨城県は広大な関東平野を有し、首都圏という大消費地に隣接しているため、近郊農業が非常に盛んです。特定の品目に特化しすぎず、野菜や畜産を組み合わせでバランスよく生産している点が統計上の大きな特徴です。これに対し、新潟県は米の割合が突出しており、宮城県は畜産の割合が非常に高いという違いがあります。
問9	答え 2 ドーナツ化現象	都市の中心部で地価が上がったり、環境が悪化したりすることで、住居を求めて人々が周辺の郊外や近隣の県へと移り住む現象を「ドーナツ化現象」と呼びます。これにより、東京都周辺の県では居住者（夜間人口）が増える一方で、昼間は都心部へ仕事や学校に向かうため、昼間人口が夜間人口を下回るという逆転現象が生じています。
問10	答え 4 石油化学工業	千葉港の輸入相手国の上位が西アジア諸国であることは、エネルギー資源である原油を大量に輸入していることを示しています。京葉工業地域は、この輸入された原油を原料としてガソリンやプラスチックなどの製品を作る石油化学工業が極めて盛んな地域です。臨海部に巨大な工場群（コンビナート）が形成されているのが大きな特徴です。
問11	答え 4 夏でも冷涼な気候を利用して、平地での生産が難しい時期に野菜を栽培・出荷する高冷地農業。	群馬県の嬬恋村などに代表される地域では、標高が高いことによる「夏に冷涼な気候」を活かした農業が行われています。平地の気温が上昇し、キャベツなどの生育が難しくなる8月前後に収穫時期を合わせることで、市場への安定供給と高い収益を実現しています。冬の温かさを利用する「促成栽培」や、都市への近さを利用する「近郊農業」とは、利用する自然的・社会的条件が異なります。
問12	答え 3 通勤と通学	東京都には約81万もの事業所や179校に及び大学などの教育機関が高度に集中しています。そのため、周辺の埼玉県、千葉県、神奈川県から仕事や学びのために多くの人々が移動してきます。このように、ある地域に住んでいる「夜間人口（常住人口）」に対し、他の地域から流入する人々を加えた「昼間人口」が上回る現象は、大都市の中心部で顕著に見られる特徴です。
問13	答え 3 宇都宮市	栃木県は北関東の内陸部に位置し、日照時間が比較的に長いことなどから住宅用太陽光発電機器の普及が進んでいます。栃木県の県庁所在地は宇都宮市です。選択肢にある前橋市は群馬県、水戸市は茨城県の県庁所在地であり、北関東3県の名称と位置、県庁所在地はセットで覚えるのが地理学習の基本です。